

実施内容	クリケットを通じた国際理解と異文化体験		体験領域	他者理解
日時	2023年 7月13日(木)	場所	体育館	
実施校	大田区立洗足池小学校			
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・クリケットは世界100カ国以上でプレーされており、競技人口やファンの数も非常に多いスポーツです。フェアプレー精神を大切にするスポーツであるクリケットの体験を通して、他者への理解を深めることができました。 ・実技体験では、ボールキャッチやボーリング(クリケットの投球方法)の練習をしたあと、4チームに分かれて、実戦形式の試合を行いました。 			

競技解説

競技の歴史やルール、道具などクリケットの世界を紹介



- ・競技が行われている国の数や競技人口、ファンの総数がサッカーに次いで2位であること、試合形式によってティertimeがあることに児童は驚いていました。
- ・ボールやバットなどの道具に直接触れ、代表児童2名が実際に防具を装着しました。

デモン ストレーション

日本代表を経験したスタッフを含むメンバーによるデモンストレーションを見学



- ・道具の使い方や配置、ルールなどについて、スタッフによるデモンストレーションを見学しました。
- ・スタッフがボールを投げ、バットで打ち返す場面を目の前で見学し、児童は実技体験への期待が高まっている様子でした。

実技体験

ボールキャッチや、ボーリング(クリケットの投球方法)の練習後に、試合を実施

- ・スタッフがチームに一人つき、試合の進行をサポートしました。
- ・ボーリング練習をゲーム形式で行いました。ルールは3本の的(ウィケット)を先に倒したチームの勝ちとして行いました。児童はとても盛り上がっている様子でした。
- ・試合は4チームに分かれて実施しました。得点が入るたびに、歓声が体育館に鳴り響きました。



参加した児童の声・反応

- ・普段あまりしない経験でとても楽しかったです。もっとこのような新しい挑戦をする授業が増えればいいのではないかと感じました。
- ・最初はルールがよく分からなかったけど、やっていくうちに慣れてきてとても楽しかったです。360度どこに打ってもよく、スポーツが苦手な人でも簡単にできるのがよいと思った。
- ・今回の体験で、みんなと協力することがとても大切だと改めて感じたので、よい機会だったと思います。今度、校庭でやってみたいです。そしていつか試合を見に行きたいです。